

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

## Nivolumab+CapeOX 療法

3 週毎 コース予定

疾患名 胃癌

主治医 \_\_\_\_\_ 指導医 \_\_\_\_\_ HBs 抗原( ) HBs 抗体( ) HBc 抗体( ) HCV 抗体( )

### スケジュール

《注射》		day1	day15
オプジーボ(ニボルマブ)	360 mg/body	↓	
オキサリプラチン	130 mg/m <sup>2</sup>	↓	
-----			
《内服》		(夕)	(朝) 《7 日間休薬》
カペシタビン		↓ . . . . . ↓	←————→

【注意】\* 他剤使用時はニボルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。

\* 0.2 又は 0.22 μm インラインフィルターを通して投与すること。

カペシタビン

体表面積に応じて右表により  
1 日量を決定する。

体表面積	1 日投与量
1.36 m <sup>2</sup> 未満	2,400mg/day
1.36 m <sup>2</sup> 以上～1.66 m <sup>2</sup> 未満	3,000mg/day
1.66 m <sup>2</sup> 以上～1.96 m <sup>2</sup> 未満	3,600mg/day
1.96 m <sup>2</sup> 以上	4,200mg/day

☆通常量より減量する際の理由☆

### (レジメン)

day1

- ① 生食 500 mL にて血管確保 維持(20mL/時間)
- ② オプジーボ 360 mg + 生食 64 mL 点滴静注 30 分(200 mL/時間)
- ◎メインの生食でフラッシュ
- ③ パロノセトロン 0.75 mg 1V +デキサメタゾン 6.6 mg(2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ④ オキサリプラチン +デキサメタゾン 6.6 mg(2 mL) + 5 %ブドウ糖 250 mL 点滴静注 120 分(125mL/時間)

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

day 2, 3 必要時 デキサメタゾン錠 8 mg 2×朝、昼 内服

day1(夕)-15(朝) カペシタビン 2×朝・夕食後 内服

	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/
オプジーボ 開始時間	↓	↓	↓	↓
オキサリプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓
確認				

	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/
オプジーボ 開始時間	↓	↓	↓	↓
オキサリプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓
確認				

	コース	コース	コース	コース
月日	/	/	/	/
オプジーボ 開始時間	↓	↓	↓	↓
オキサリプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓
確認				